

2007年度中間決算説明会

2007年8月24日

GMOホスティング & セキュリティ株式会社
(東証マザーズ 3788)



<http://www.gmo-hs.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2007年8月24日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

3-1 ホスティングサービス事業

3-2 セキュリティサービス事業

3-3 その他サービス事業

4. 業績予想

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

1. 結論と要約

東証:3788



2007年度 上半期総括(定性面)

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

ホスティング・セキュリティ事業 計画通りに進捗 その他サービス事業新しい展開

■ ホスティングサービス事業 ■ その他サービス事業

環境: **お客様の様々な利用ニーズの高度化・多様化**

方針: 利用ニーズに応える各種アプリケーション・オプションの提供
VPS・専用サーバーのサービス拡充

1件あたりの顧客単価のUP

施策: Windows コラボレーションホスティング、サービス開始(4/2)
SaaSソリューション拡販で(株)シーイーシーと業務提携(4/25)
Global Webを設立(3/1)し、ホームページ製作支援事業開始(3/29)

■ セキュリティサービス事業

環境: **インターネットセキュリティは標準化・関心・ニーズは引き続き高く、多様化**
認証局を取得による自社サービス企画開発力の強化

方針: 市場規模の大きい米国、潜在市場規模の大きい中国等、海外へ積極展開
自社セキュリティ商材の企画・開発・提案

規模のメリットの最大化

施策: 米国・欧州にて自社ブランド「グローバルサイン」商材展開
日本ジオトラスト株式会社⇒グローバルサイン株式会社へ商号変更(5/30)
「グローバルサイン」商材販売開始(7/1~)
NON IP SSL (IPアドレス無しでも独自ドメインSSLが利用可能)の販売開始(6/13)
期間カスタマイズオプションサービス提供開始<複数証明書の有効期限を揃える>

商品開発力の強化

東証:3788



2007年度 上半期総括(定量面)

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

売上高が若干予想に届かず・利益については予想達成

	2007年 6月期 (予想)	2007年 6月期 (実績)	対予想 達成率 (%)	2007年 12月期 (予想)
売上高	3,400	3,375	99.2	8,252
営業利益	550	552	100.3	1,441
経常利益	520	584	112.3	1,451
中間(当期)純利益	250	307	122.8	721
1株当たり中間 (当期)純利益	-	2,652 円	-	6,203円

東証:3788



	【上方修正前】	【上方修正前 予想達成率】
売上高	3,281百万円	(+102.8%)
経常利益	449百万円	(+130.0%)
中間純利益	209百万円	(+146.8%)

★平成19年5月15日に中間連結業績を上方修正いたしました。

(単位百万円、単位未満切捨て)

(単位%、少数点第2位切捨て)

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

2. 財務ハイライト

東証:3788



財務ハイライト 2007年度第2四半期決算(連結損益計算書)

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

売上微増 +1.5% 営業利益 △33.8% (対前四半期比)

(単位百万円、単位未満切捨て)

	2006年 (1Q)	2006年 (2Q)	2006年 中間期	2007年 (1Q) A	2007年 (2Q) B	2007年 中間期	対前四半 期比 (%)
売上高	1,308	1,380	2,688	1,675	1,700	3,375	1.5
売上原価	470	509	980	626	700	1,327	11.8
売上総利益	837	870	1,708	1,048	999	2,048	△4.6
販売費及び一般管理費	491	528	1,020	715	779	1,495	8.9
営業利益	345	342	688	332	220	552	△33.8
経常利益	347	344	692	296	288	584	△2.7
四半期純利益	202	210	412	166	141	307	△15.2
1株当たり四半期純利益	3,532	3,664	7,196	1,437	1,216	2,652	△15.4
潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益	3,515	3,595	7,061	1,424	1,208	2,634	△15.2

東証:3788



注) 2006年7月1日付をもって1株を2株に分割しております。

対前四半期比の計算式は $(B/A-1) \times 100$ (小数点第2位以下四捨五入)

財務ハイライト 2007年第2四半期決算セグメント(事業別)情報

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

東証:3788



新サービス展開に向けての先行投資実施(対前四半期比)

【セグメント別売上高】 ※ 7月より「グローバルサイン」商材(日本)販売開始の為、旧商材売り控え

	2006年 (1Q)	2006年 (2Q)	2006年 中間期	2007年 (1Q) A	2007年 (2Q) B	2007年 中間期	対前四半 期比(%)
● ホスティングサービス事業	1,191	1,265	2,457	1,385	1,447	2,833	4.5
● セキュリティサービス事業	109	102	212	288	※ 250	539	※ Δ13.2
● その他サービス事業	7	11	19	0	1	2	-
● 連結合計	1,308	1,380	2,688	1,675	1,700	3,375	1.5

【セグメント別営業利益】 ※ 「グローバルサイン」全世界販売のためのシステム刷新・ブランド認知度向上活動

	2006年 (1Q)	2006年 (2Q)	2006年 中間期	2007年 (1Q) A	2007年 (2Q) B	2007年 中間期	対前四半 期比(%)
● ホスティングサービス事業	329	330	659	303	291	594	Δ4.0
● セキュリティサービス事業	33	25	58	30	※ Δ69	Δ38	-
● その他サービス事業	Δ1	2	1	Δ2	Δ6	Δ9	-
● 消去又は全社	Δ17	Δ15	Δ32	0	5	5	-
● 連結合計	345	342	688	332	220	552	Δ33.7

注) 2006年1Q、2Q、中間期の数値は未監査であります。

(単位百万円、単位未満切捨て)

対前四半期比の計算式は $(B/A-1) \times 100$ (小数点第2位以下四捨五入)

財務ハイライト 2007年第2四半期決算（四半期費用推移）

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

東証:3788



グローバルサイン世界展開に伴う経費増加

（単位百万円、単位未満切捨て）

	2006年 (1Q)	2006年 (2Q)	2006年 中間期	2007年 (1Q) A	2007年 (2Q) B	2007年 中間期	対前四半期比 (%)
売上原価	470	509	980	626	700	1,327	11.8
ホスティング	446	484	931	569	635	1,204	11.6
セキュリティ	18	18	36	57	64	121	12.3
その他	5	6	12	0	0	0	—
SGA	491	528	1,020	715	779	1,495	9.0
人件費	214	238	452	331	349	680	5.4
プロモーション費	116	115	231	122	136	258	11.5
各種償却費(のれん除)	7	8	15	10	10	21	—
のれん償却費	17	20	37	70	70	140	—
支払手数料	35	36	72	44	58	103	31.8
その他	101	109	211	136	154	291	13.2

注) 2006年1Q、2Q、中間期の数値は未監査であります。

対前四半期比の計算式は $(B/A-1) \times 100$ (小数点第2位以下四捨五)

財務ハイライト 2007年度第2四半期決算(連結CF計算書)

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

法人税支払増加、先行投資も良好なキャッシュフロー(対前年同期比)

(単位百万円、単位未満切捨て)

	2006年 中間期	2007年 中間期	
営業活動によるキャッシュフロー	620	531	法人税等の支払い +188百万円 売上債権の増加 +30百万円
投資活動によるキャッシュフロー	△226	△303	無形固定資産 取得による支出 +96百万円 子会社取得に伴う 支出 +97百万円
財務活動によるキャッシュフロー	△213	△436	短期借入金 純増減 △202百万円 配当金の支払額 +34百万円
現金および現金同等物の増減額	179	△210	
現金および現金同等物の期末残高	3,331	2,384	

東証:3788



財務ハイライト 2007年度第2四半期決算(連結貸借対照表)

健全な財務体質を維持

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

(単位百万円、単位未満切捨て)

	2006年 中間期 (参考)	2006年 12月期	2007年 中間期	構成比(%)
流動資産	3,929	3,447	3,272	56.8
固定資産	792	2,344	2,486	43.2
資産合計	4,721	5,792	5,759	100.0
流動負債	1,788	2,234	2,165	37.6
固定負債	1	120	82	1.4
資本合計/純資産	2,932	3,438	3,512	61.0
負債、少数株主持分及び資本合計 /負債純資産合計	4,721	5,792	5,759	100.0

東証:3788

現金及び預金 △210(対前年度末) 工具器具備品 +53(対前年度末) ソフトウェア +130(対前年度末)
 短期借入金 △200(対前年度末) 資本金・資本剰余金 +5(対前年度末)

財務ハイライト ホスティングサービス事業契約数

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

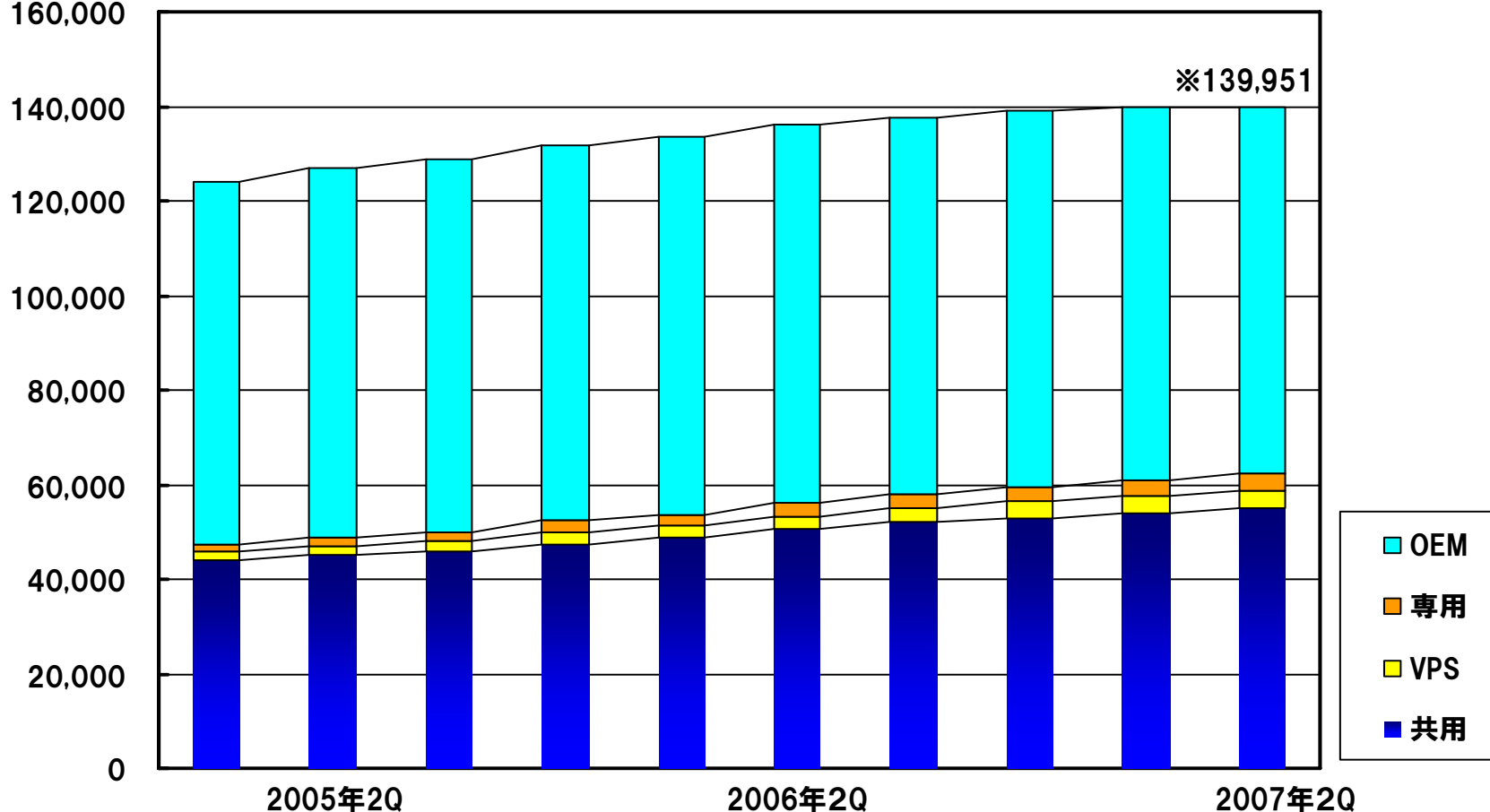
東証:3788



VPS・専用ホスティングサービス 件数増加+34.9%（対前年同期比）

● VPS・専用 2006年中間期 5,493件⇒2007年中間期 7,411件

(単位:件)
160,000



※ 2007年1QよりOEM件数の抽出方法を変更

財務ハイライト ホスティングサービス事業・高価格帯商品の推移

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

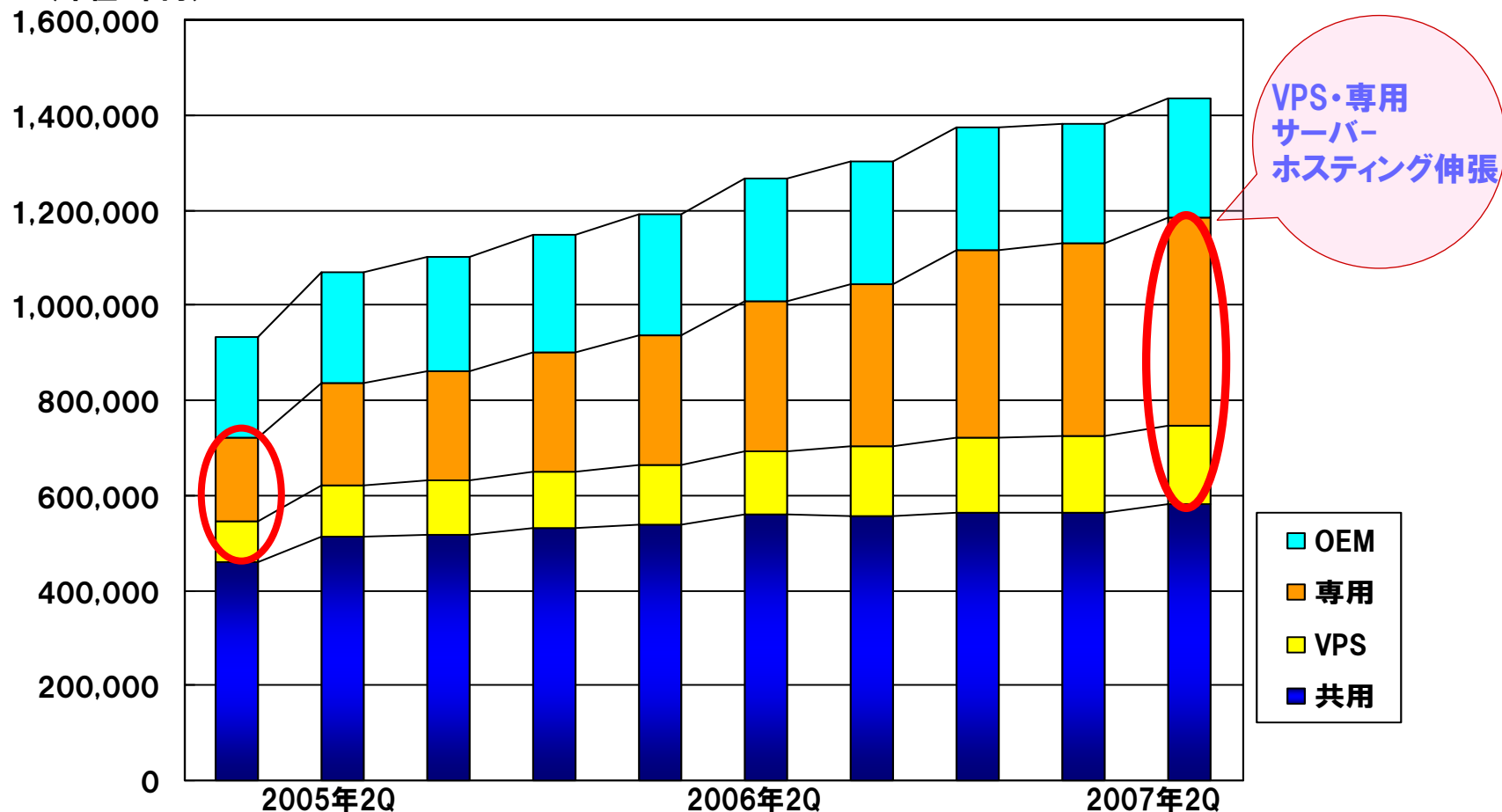
東証:3788



VPS・専用ホスティングサービス 売上高の増加 +38.4% (対前年同期比)

● VPS・専用 2006年中間期 843,366千円⇒ 2007年中間期 1,167,194千円

売上高(金額)
(単位:千円)



財務ハイライト セキュリティサービス事業・SSLサーバ証明書

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

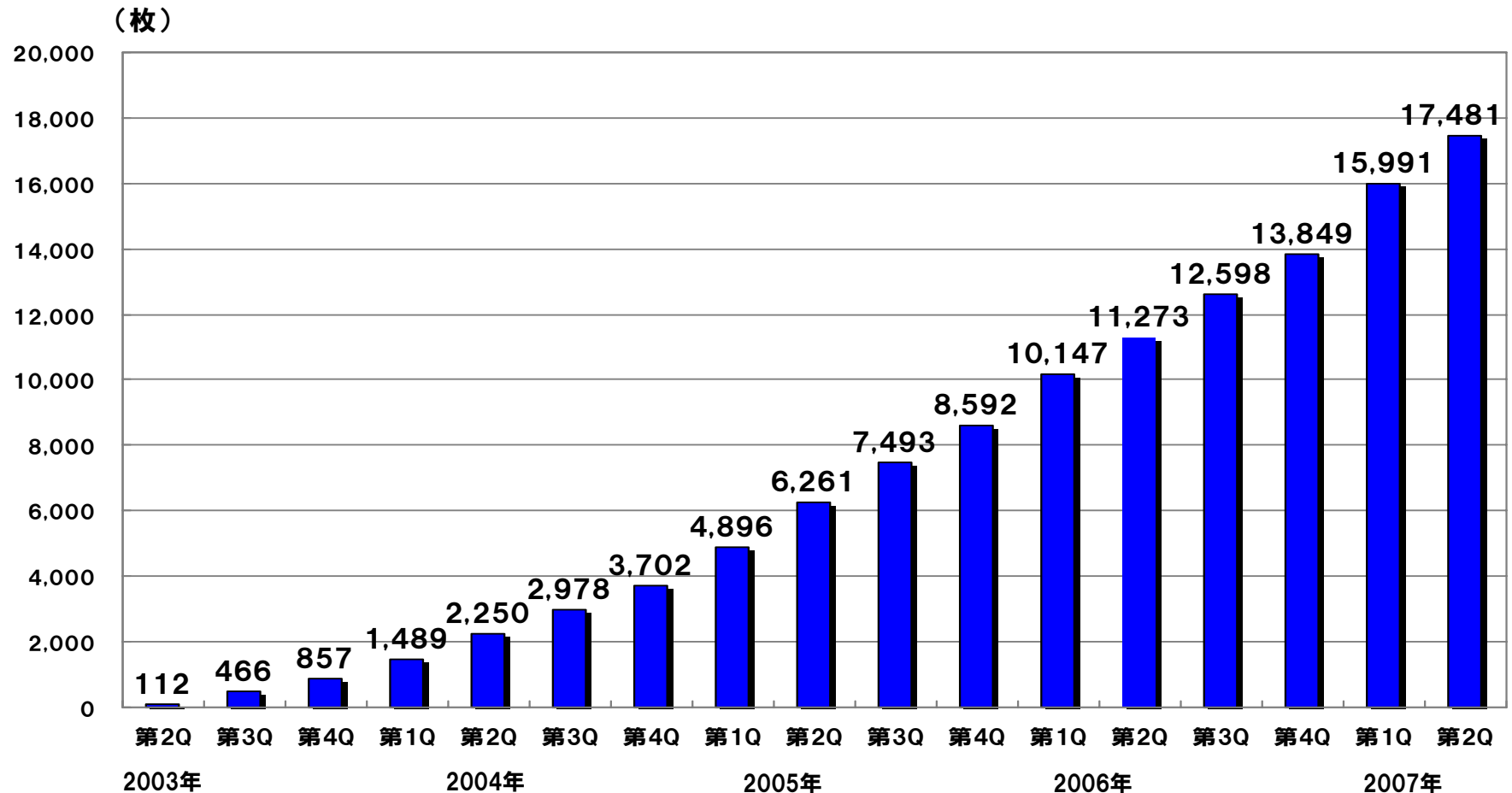
4. 業績予想

東証:3788



国内事業は順調に伸張、海外マーケットのプラスオン効果を見込む

● SSLサーバ証明書有効発行枚数(国内)



※ 「ジオトラスト」商材のみ
「グローバルサイン」商材の国内販売は7月～

財務ハイライト セキュリティサービス事業・シェアの推移

1. 結論と要約

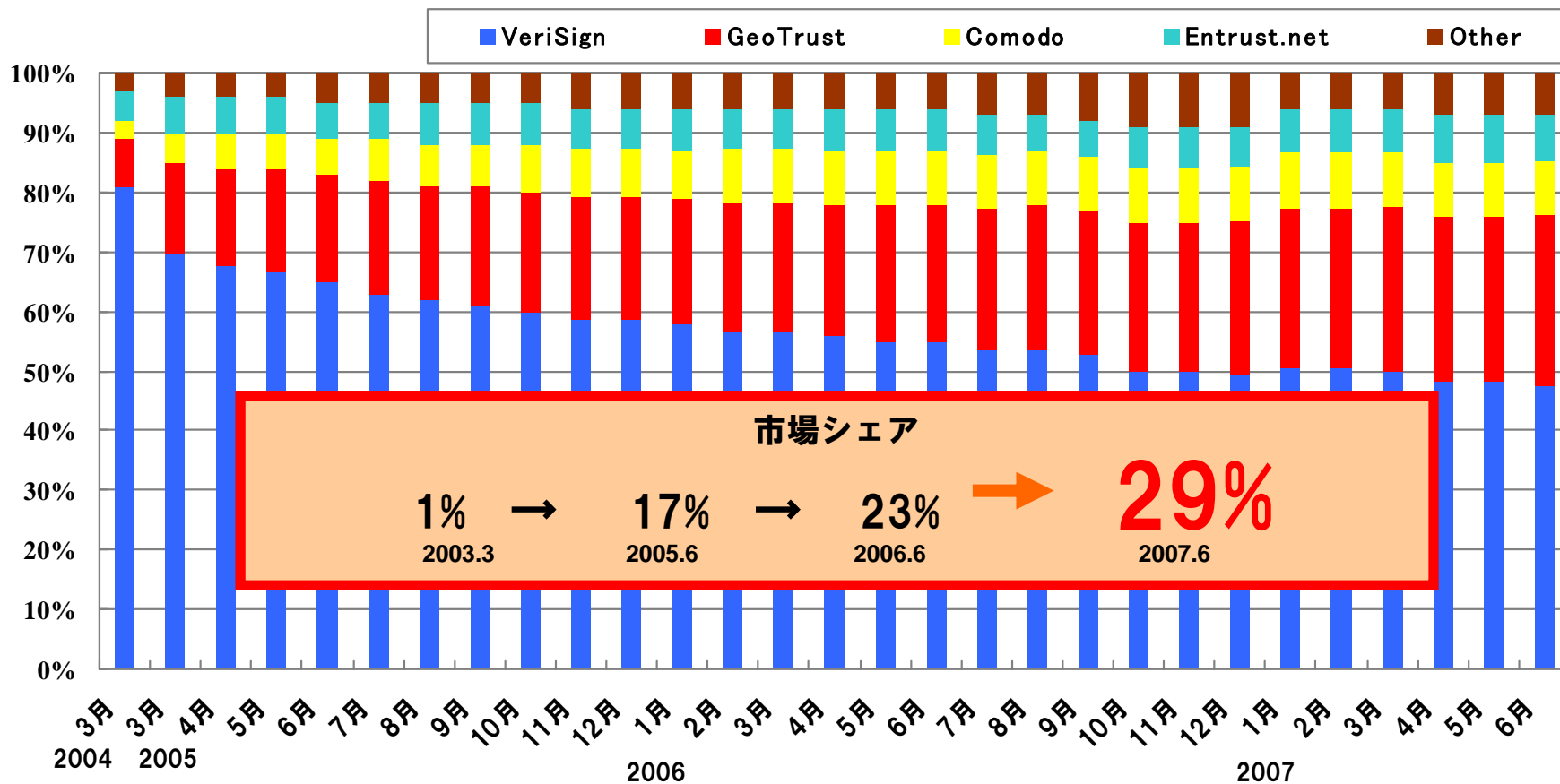
2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

市場参入後4年で29%のシェアを達成、直近1年間では6ポイント上昇

国内市場占有率: 23%(2006.6) → 29%(2007.6)



東証:3788



※ 「ジオトラスト」商材のみ
「グローバルサイン」商材の国内販売は7月～

出典 ネットクラブ調査及び自社推計

財務ハイライト 2007年度第2四半期投資内容まとめ

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

「来年度以降の大きな飛躍」のために、必要な投資を積極実施

1. 成長維持のための投資

今後の本格成長が期待されるメッセージング市場

「Windowsコラボレーションホスティング」

⇒投資額 220百万円(4月より償却開始済 月額約4百万円)

「SaaS市場」での優位性確保のためのアプリケーション開発投資

2. セキュリティサービスへの投資

「グローバルサイン」の国内・海外本格展開開始動

GSLtd.、GSNV 取得に伴うのれん償却費及びソフトウェア償却費

⇒年額268百万円

GS導入のために証明書発行システム・販売システム

⇒投資額 140百万円(7月より月額償却費2.3百万円)

全世界での認知度向上のための広告・販促費

⇒約20百万円(第2Q支出済)

3. 内部収益力向上のための投資

社内システム刷新のための投資。償却負担は本年度4Q(予定)より

⇒投資額 390百万円(月額償却費6.5百万円)

東証:3788



1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

3. 事業展開

3-1 ホスティングサービス事業

東証:3788



ホスティングサービス事業 基本方針

1. 結論と要約

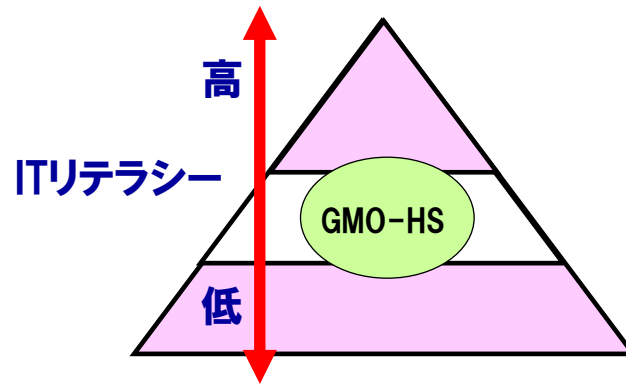
2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

高付加価値サービスの提供・潜在顧客へのアプローチ

GMO-HSの主要顧客層 = ITリテラシーが中程度の中小～大手企業

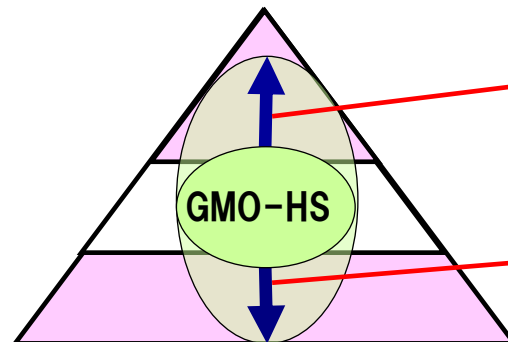


課題:

- 今後、SaaSなどの、より高付加価値なサービス市場の急成長が見込まれ、対応が急務となる
- 件数ベースで多いニーズ「WEBサイトを安く作りたい」などへの対応ができていなかった



ITリテラシーの高位層・低位層を取り込み、シェアを垂直的に拡大



「メッセージングサービス(Windowsコラボレーションホスティング)」、
「SaaS対応の新サービス」展開開始

Global Web設立により、ターゲット顧客
を潜在層にまで拡大

東証:3788



ホスティングサービス事業 上半期サービスイン商材

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

引き続き営業注力

■ Exchange Hosted Service (Windowsコラボレーションホスティング)

急成長中のメッセージングサービス市場向けサービス → 4月2日サービス開始

- ・急速に普及しつつあるスマートフォンと連動可能な**高い汎用性**
- ・安心して導入可能な**高いコストパフォーマンスと万全のサポート体制**

■ カスタマイズ可能なアプリケーションホスティング

●急成長が予想されるSaaS対応の新サービス → 4月25日サービス開始

- ・有力SIer、株式会社シーイーシーとの提携でCRMツールを展開
- ・オープンソースの利点を活かして、「導入時のコンサル」から「アフターサポート」まで、**ストック型ビジネスで実現**

●パソコン・携帯対応の高機能ネット予約システム → 6月7日サービス開始

■ 203通りにカスタマイズ可能な専用サーバーホスティングサービス

→ 6月4日サービス開始

- ・動画配信等のリッチコンテンツニーズへの対応
- ・高いサーバスペックを求める複雑なテーブル構造のデータベースやアプリケーションサーバー上で運用するケースに対応。**様々なニーズに対応する高付加価値商材の充実。**

東証:3788



下半期重点取組課題 Windowsコラボレーションホスティング

メッセージング市場への注目・スマートフォンの普及兆しなど環境良好

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

■ サービス概要

①～③のサービスを自由に組み合わせて利用

- ①Exchange（エクスチェンジ）サービス
スマートフォン等の携帯端末を利用してスケジュール管理や情報共有を行う
- ②SharePoint（シェアポイント）サービス
社外メンバーとの安全な情報共有
- ③IIS（アイアイエス）サービス
複数ドメイン名をまとめて管理・HPを複数サイトで運用

■ 成長性（エクスチェンシサービス）

携帯端末向けプラットフォーム「Windows Mobile6」提供開始
06年12月より「3×3」戦略実施中 3年間かけて、毎年ごとにWindows Mobile搭載機の出荷台数を3倍にする。2007年末には100万台突破の出荷が目標
・・・マイクロソフト社 執行役常務ビジネス&マーケティング担当 佐分利ユージン氏
07年6月6日 マイクロソフト製品発表会挨拶
・・・マイクロソフト社プレスイベントレポートより

2007年のWindows Mobile6搭載端末機の市場規模が約100万台だとすると、その半分の50万台程度がスマートフォン・・・
・・・IT Media より HTC Nippon ビジネス・ストラテジー&マーケティング本部
ディレクター 田中氏談 抜粋

東証:3788



1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

3. 事業展開

3-2 セキュリティサービス事業

～「グローバルサイン」世界ブランドへの飛躍をめざして～

東証:3788



セキュリティサービス事業 GMO-HSの展開市場

米国現地法人設立(7月) 中国に拠点設立(年内予定)

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想



東証:3788



セキュリティサービス事業 GMO-HSの展開市場

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

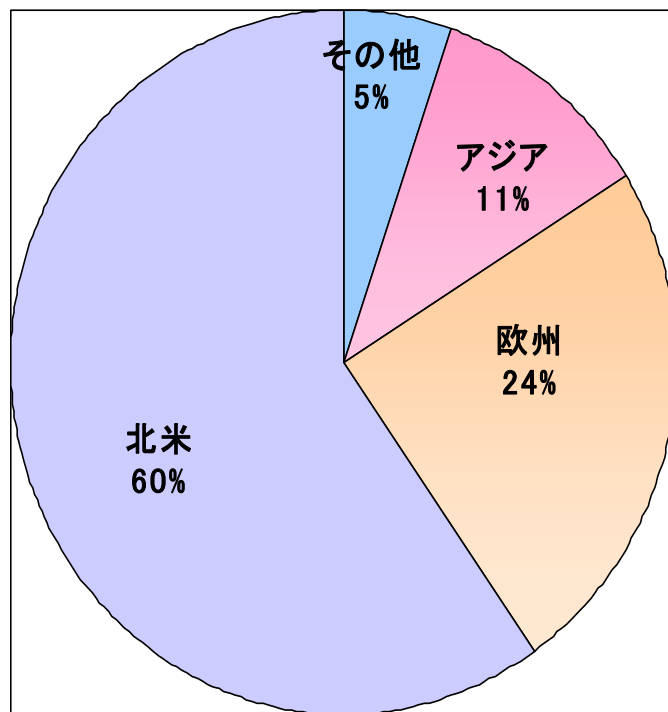
4.業績予想

東証:3788



市場規模の大きい北米・欧州・アジアに拠点を設けシェア獲得を図る

＜サーバ証明書発行枚数 地域別シェア＞



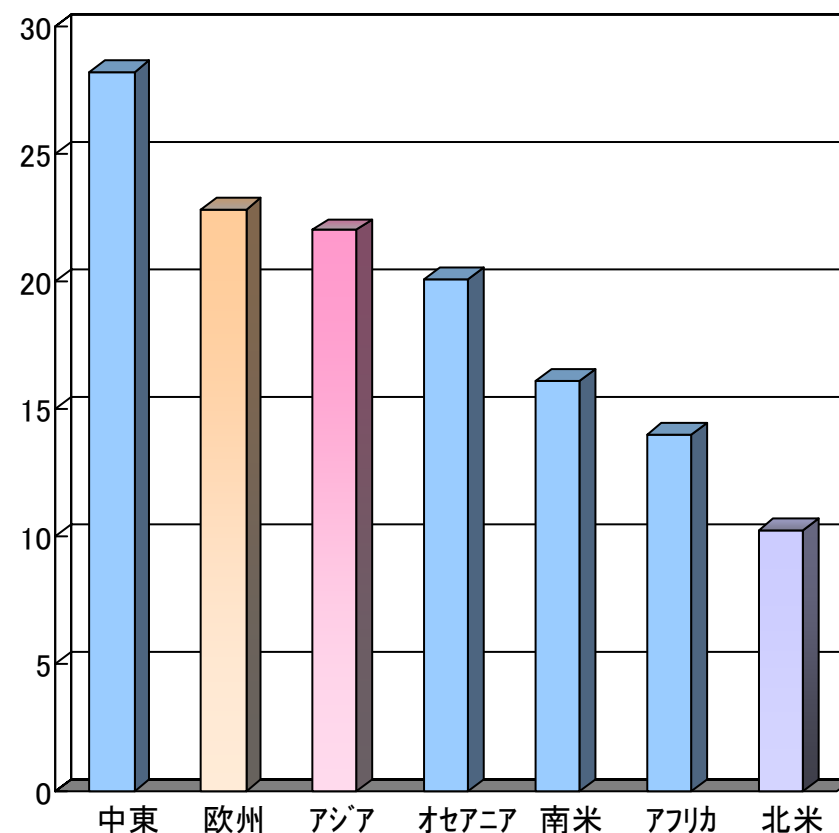
「グローバルサイン」サービス



欧州（1月販売スタート）
アジア（7月販売スタート）
北米（7月販売スタート）

＜サーバ証明書発行枚数 地域別成長率＞

（単位：%）



出典：ネットクラフト調査及び自社推計 07年4月末

セキュリティサービス事業 下半期注力サービス

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

EV証明書、年内販売開始。その他多様なニーズに応えられる商品提供

Extended Validation Certificate (EV証明書)

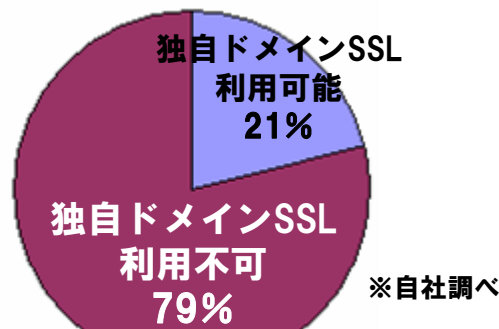


- DV(*1)、OV(*2)、EVの証明書ラインナップを、ユーザの用途に応じて販売
- グローバルサインは3商材を販売する唯一のブランドとなる

non-IPサービス



6月13日サービス開始



ホスティング事業者における
独自ドメインSSLの割合

- 従来のSSL通信は、IPアドレスを取得しなければ通信不可
- したがって、これまで既存のマーケットは、ホスティング事業者のうちの21%
- 本サービスでは、残りの79%もサービス対象になる
- 特許出願中。独占的・排他的に提供可能なサービスとなりうる

コードサイニング



7月2日サービス開始

- プログラム配布元の認証用証明書
- 64bit版のVistaのコードサイニングに対応しているのは、現在世界で3社のみ

東証:3788



*1... Domain Validation、ドメイン認証
*2... Organization Validation、組織認証

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

3. 事業展開

3-3 その他サービス事業

東証:3788



新事業 Global Web足元の状況

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

事業進捗に遅れ

■ WEBサイト制作支援（ホームページ制作支援サービス）

■ 中間期業績予想

07年6月（中間期）予想	売上高	79百万円
07年6月（中間期）実績	売上高	2百万円

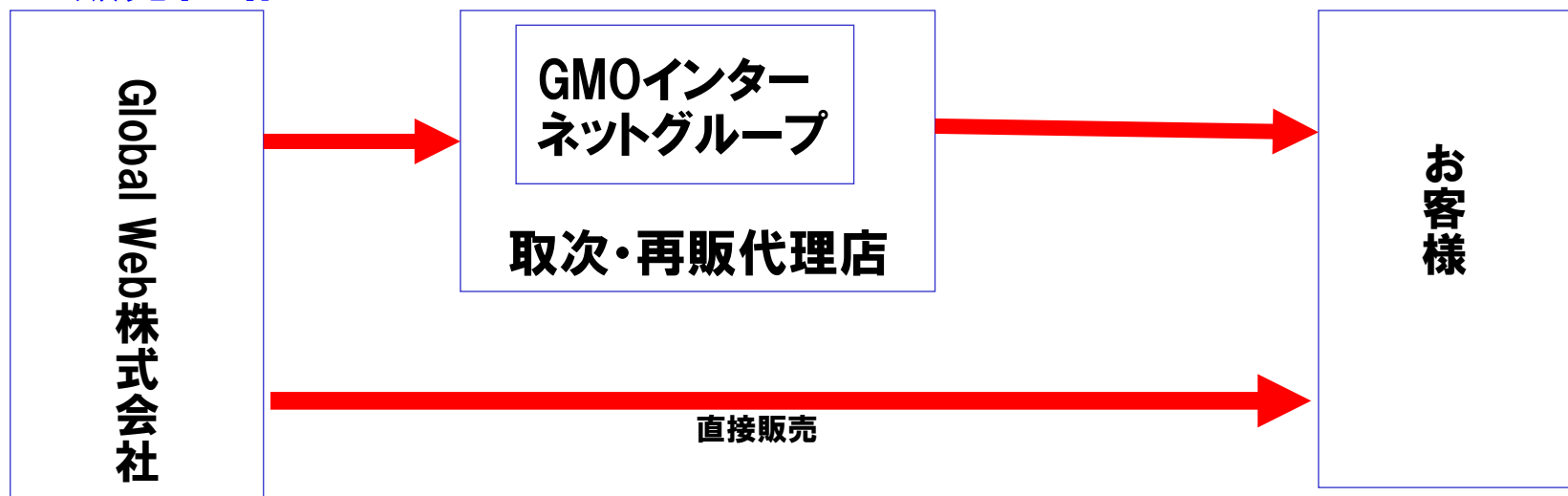
3月29日サービス開始
売上計上 5月～

営業利益	9百万円
営業利益	△9百万円

■ 事業進捗の遅れをとりもどすための方針

- ① 販路の開拓 ② 新商材投入

■ 販売経路



東証:3788



新事業 GlobalWeb足元の状況

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

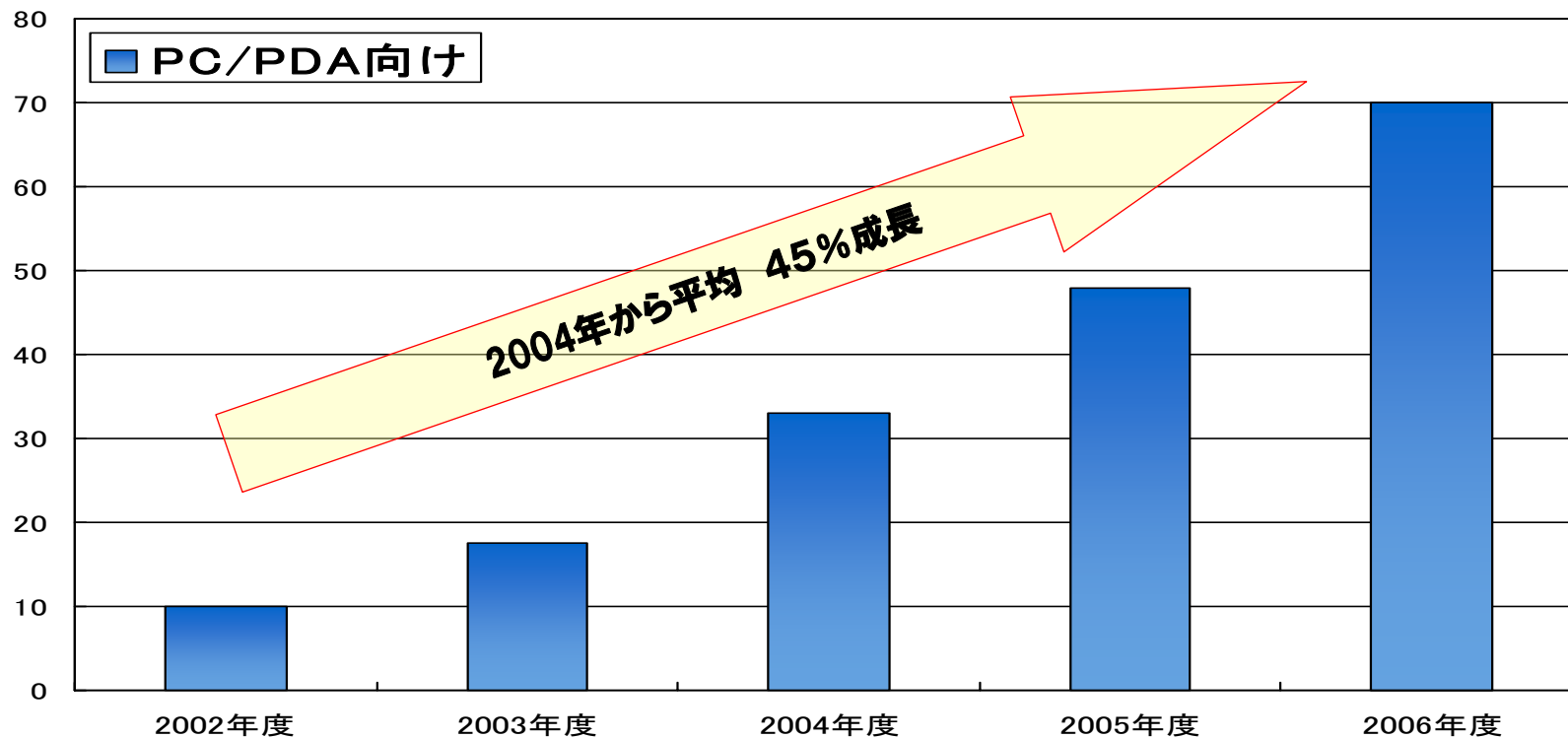
販売経路拡大と新商材の投入

■ **(新商材) 電子カタログASPサービス** → 7月3日サービス開始

カタログや雑誌等の印刷物を、ウェブ上で本をめくるように閲覧できるサービスをASP展開

● **成長性 (電子書籍市場動向)**

(単位: 億円)



東証: 3788



出展 インターネット白書2007

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

4. 業績予想

東証:3788



業績予想 2007年決算予想(連結)

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

通期予想数値は、据え置き

【通期予想】

(単位百万円、単位未満切捨て)

	2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期(予想)	前年比(%)
● 売上高	4,558	5,744	8,252	43.6
● 営業利益	1,017	1,353	1,441	6.5
● 経常利益	969	1,438	1,451	0.9
● 当期純利益	592	847	721	△14.9

●セキュリティ・ホスティングサービス両事業とも現状では、計画通り進捗。
以下の不確定要因より通期予想数値は据え置き。

- ・「グローバルサイン」への切替の影響(システム・ブランド)
- ・その他サービス事業の進捗状況

東証:3788



業績予想 2007年決算予想(セグメント別)

1.結論と要約

2.財務ハイライト

3.事業展開

4.業績予想

ホスティング・セキュリティ両事業計画通りに進捗・その他サービス事業に遅れ

【セグメント別売上高】

(単位百万円、単位未満切捨て)

	2006年 中間期 (上期)	2006年 中間期 (下期)	2006年 12月期	2007年 中間期 (上期)	2007年 下期計画 (差額)	2007年 12月期 (予測)
● ホスティングサービス事業	2,457	2,679	5,136	2,833	2,946	5,779
● セキュリティサービス事業	212	371	583	539	565	1,104
● その他サービス事業	19	2	24	2	1,367	1,369
● 連結合計	2,688	3,056	5,744	3,375	4,877	8,252

【セグメント別営業利益】

	2006年 中間期 (上期)	2006年 中間期 (下期)	2006年 12月期	2007年 6月期 (中間期)	2007年 下期計画 (差額)	2007年 12月期 (予測)
● ホスティングサービス事業	659	562	1,221	594	600	1,194
● セキュリティサービス事業	58	74	132	△38	△47	△85
● その他サービス事業	1	3	4	△9	343	334
● 内部取引消去	△32	27	△5	5	△5	△0
● 連結合計	688	665	1,353	552	890	1,441

東証:3788



注) 2006年1Q、2Q、中間期の数値は未監査であります。

業績予想 利益率の推移

1. 結論と要約

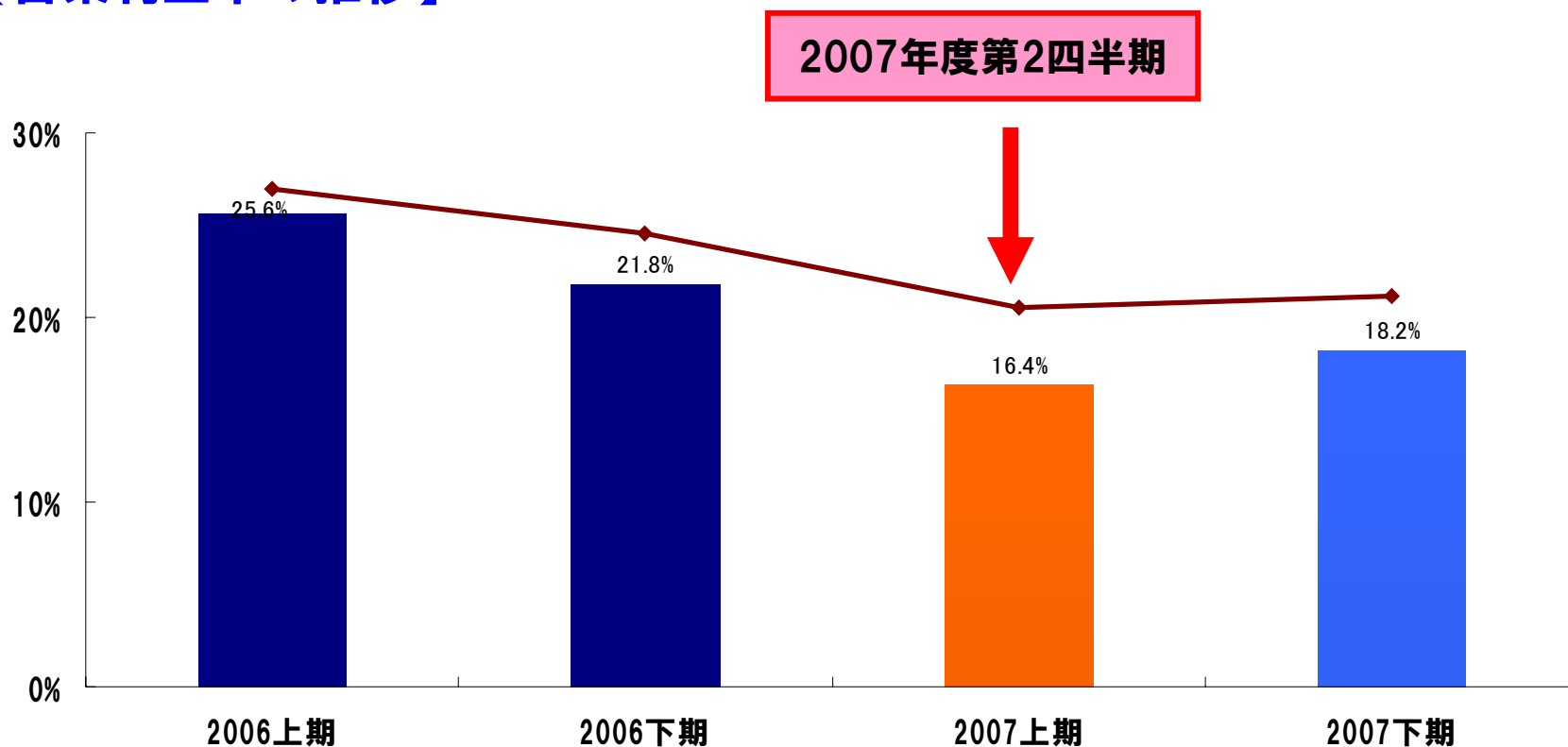
2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

今年度における利益率のイメージ

【営業利益率の推移】



(予想)

※ 折れ線はのれん償却費を控除した場合

東証:3788



まとめ 2007年下半期取組及び中長期見通し

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

セキュリティサービス事業の世界展開

●ホスティングサービス事業

【07年下半期】

専用商材の付加価値を高め、顧客単価の上昇
メッセンジング市場への取組「Windowsコラボレーション」の認知度向上

【08年以降】

セキュリティ機能・アウトソース機能を強化した、
マネージドホスティングサービスへの取組
社内基幹システム刷新によるコスト構造の見直し

顧客単価上昇

中長期的なコスト削減

●セキュリティサービス

【07年下半期】

米国・中国に現地法人設立
高価格帯のEV証明書サービス開始

【08年以降】

グローバルサイン市場シェア拡大(米国・中国等の海外売上注力)により
損益分岐点(認証局運営による固定費大)の突破を図る
PKIを利用した新たなニーズのほりおこし

グローバルでの拡販による
利益率の上昇

●その他サービス

販路の拡大により、潜在顧客のほりおこし

ホスティングサービス・セキュリティサービスに次ぐ第3の柱となる事業へレベルアップ

●上記以外

既存サービスとシナジー効果を活かせる事業との資本・業務提携あるいはM&Aを検討

東証:3788



その他 GMOインターネットによる当社株売却について

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

GMOインターネット(株)の持分比率 51.3% 引き続き連結維持

当社発行済株式数 116,230株 (2007年6月末日現在)

GMOインターネット株式会社
持分比率 62.9% 73,159株 (2007年6月末日現在)

8月14日の売却 13,490株



GMOインターネット株式会社
持分比率 51.3% 59,669株 (2007年8月14日現在)

ブロックトレードにより証券会社(野村証券他)に売却、GMOインターネット株式会社による当社株式の更なる売却は予定されておりません。

東証:3788



ありがとうございました



当資料に関するお問合せ先

GMOホスティング&セキュリティ株式会社

経営企画室 IR担当

TEL 03-6415-6100

Email ir_@gmo-hs.com または

<http://www.gmo-hs.com> /より

「お問合せ」フォームをご利用ください。

【参考】ホスティングサービス事業 市場の成長性①

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

大きな潜在市場

● ホスティングサービス市場の潜在規模 (ビジネスユーザー向け)

■ 企業数
■ ホスティング
市場規模

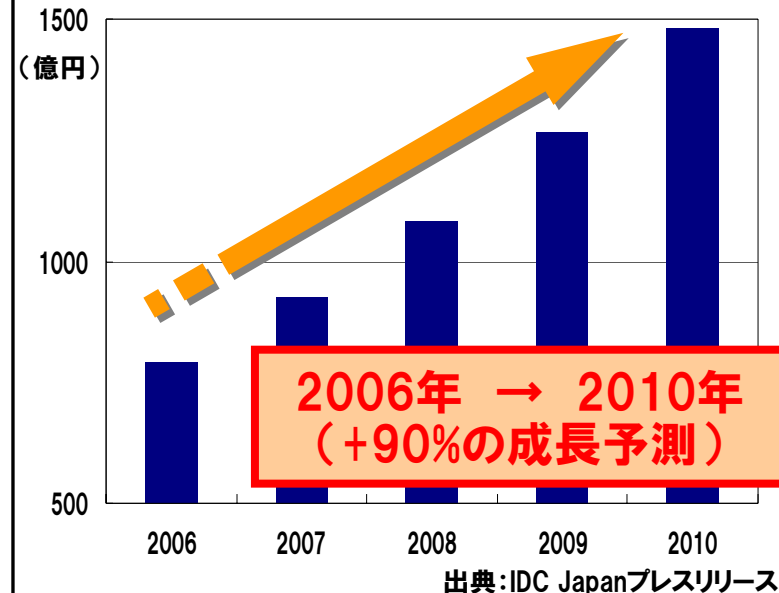
市場成長
余地

	日本	米国
企業数	257万 *1	505万 *2
現在のホスティング 市場規模(2005年)	600億円 *3	4,700億円 *4

2010年まで年平均
14%で継続的に
成長予測 *4

*1) 平成16年現在。国税庁
会社標本調査結果より
*2) 中小企業庁調査資料より
*3) マルチメディア振興会資料
より自社推定
*4) IDC 5/2006, U.S. Web
Hosting Services 2006-
2010 Forecast
(201639)より。市場規模
は、Shared and virtual
private server, Dedicated,
Complexの総計\$4,119M
を当社にて円換算。
(禁無断転載)

● 2010年までの ホスティングサービス市場規模



東証:3788



- 国内のホスティングサービス市場は大きな潜在的成長余地がある。
- ホスティングサービス市場は2010年までに2006年比+90%の成長が期待されている。

【参考】セキュリティサービス事業 市場の成長性(国内)

1. 結論と要約

2. 財務ハイライト

3. 事業展開

4. 業績予想

国内だけでも、多くの成長余地・成長機会が存在

2010年まで、セキュリティ市場は年平均30%の成長が見込まれている

(出典:2007年ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 株式会社富士キメラ総研)

+

	日本企業	世界全体
サイバー犯罪は物理的な犯罪よりも脅威である:	YES 69%	YES 58%
サイバー犯罪への十分な防護対策を取っている:	YES 15%	YES 59%

日本IBM調査 2006.5

東証:3788

・セキュリティ市場には、大きな成長余力が存在する。また、日本企業のセキュリティ意識は高いため、今後も継続したセキュリティ関連への設備投資が予想される